



ジャパン トラック ショー 2024

実施報告書

トラック関連業界、日本最大級の展示会!!

2024. 5/9 (木)・10 (金)・11 (土)

パシフィコ横浜

10:00▶18:00 (5/11のみ17:00まで)

■ご挨拶・開催概要	
■結果概要	1
■来場者の構成	1
■来場者アンケート結果	4
■主催者特別講演の内容	10
■出展社一覧	11
■取材メディア一覧	12
■次回開催のご案内	

ご挨拶

この度、日本最大のトラック関連総合展示会「ジャパントラックショー2024」を、2024年5月9日(木)から11日(土)までの3日間、パシフィコ横浜にて無事開催する事ができました。

156社564小間の企業様によるご出展、各種ワークショップのほか、主催者特別講演やパネルディスカッションなどのイベントを実施し、3日間で、62,448名の方々のご来場を賜りました。

本資料は、来場者様のご登録情報ならびに会期後メールにて実施させていただきましたアンケートを元に構成いたしました。

今回の結果を踏まえ、次回の「ジャパントラックショー2026」がより良いものになるよう事務局運営に努めてまいります。

今後ともジャパントラックショーへのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

主催：一般社団法人 国際物流総合研究所 会長 南 元一

開催概要

名 称	ジャパントラックショー 2024
会 期	2024 年 5 月 9 日(木)、5 月 10 日(金)、5 月 11 日(土) 10:00~18:00 ／最終日は 17:00 にて終了
会 場	パシフィコ横浜
主 催	一般社団法人 国際物流総合研究所
後 援	国土交通省、公益社団法人全日本トラック協会、一般社団法人日本 3PL 協会、日本貿易振興機構（ジェトロ）、日本貨物運送協同組合連合会、神奈川県、横浜市、公益社団法人北海道トラック協会、公益社団法人青森県トラック協会、公益社団法人岩手県トラック協会、公益社団法人宮城県トラック協会、公益社団法人秋田県トラック協会、公益社団法人山形県トラック協会、公益社団法人福島県トラック協会、一般社団法人茨城県トラック協会、一般社団法人栃木県トラック協会、一般社団法人群馬県トラック協会、一般社団法人埼玉県トラック協会、一般社団法人千葉県トラック協会、一般社団法人東京都トラック協会、一般社団法人神奈川県トラック協会、一般社団法人山梨県トラック協会、公益社団法人新潟県トラック協会、公益社団法人長野県トラック協会、一般社団法人富山県トラック協会、一般社団法人石川県トラック協会、一般社団法人静岡県トラック協会、一般社団法人愛知県トラック協会、一般社団法人三重県トラック協会、一般社団法人近畿トラック協会、一般社団法人高知県トラック協会、一般社団法人徳島県トラック協会、一般社団法人香川県トラック協会、一般社団法人愛媛県トラック協会、公益社団法人福岡県トラック協会、公益社団法人佐賀県トラック協会、公益社団法人熊本県トラック協会、公益社団法人大分県トラック協会、一般社団法人宮崎県トラック協会、公益社団法人鹿児島県トラック協会、公益社団法人沖縄県トラック協会
展示規模	156 社 564 小間
展示面積	約 25,000 m ²
来 場 者	62,448 名
展 示 物	大型、中型、小型、軽の各種トラック、およびトレーラー、特装車、特殊車、作業車などの商用車、それらに関連する機器、部品、用品、資材、物流機器、通信機器、コンピュータなどの OA 機器、関連ソフト・図書、整備機器・中古車

結果概要

■2024年度 展示会規模

156社／564小間

2022年度 実績

143社／520小間

2018年度 実績

129社／434小間

2016年度 実績

77社／230小間

■来場者数

62,448名

2022年度 実績

53,355名

2018年度 実績

51,744名

2016年度 実績

26,063名

■日別来場者数内訳

開催日	天候	来場者数
5月9日(木)	雨のち晴	19,373名
5月10日(金)	晴	22,919名
5月11日(土)	晴	20,156名
合計		62,448名

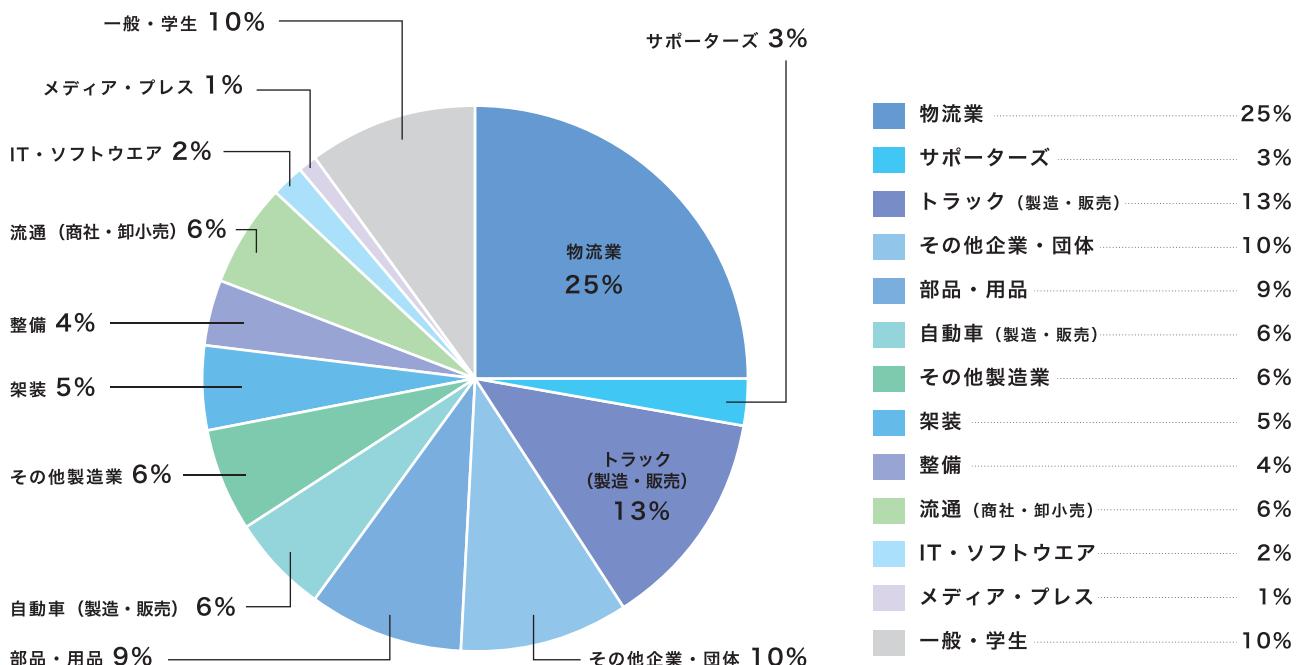
■来訪 都道府県トップ5

1位	東京都	29.3%
2位	神奈川県	26.3%
3位	埼玉県	7.6%
4位	千葉県	5.1%
5位	愛知県	4.0%

来場者の構成

■業種別内訳

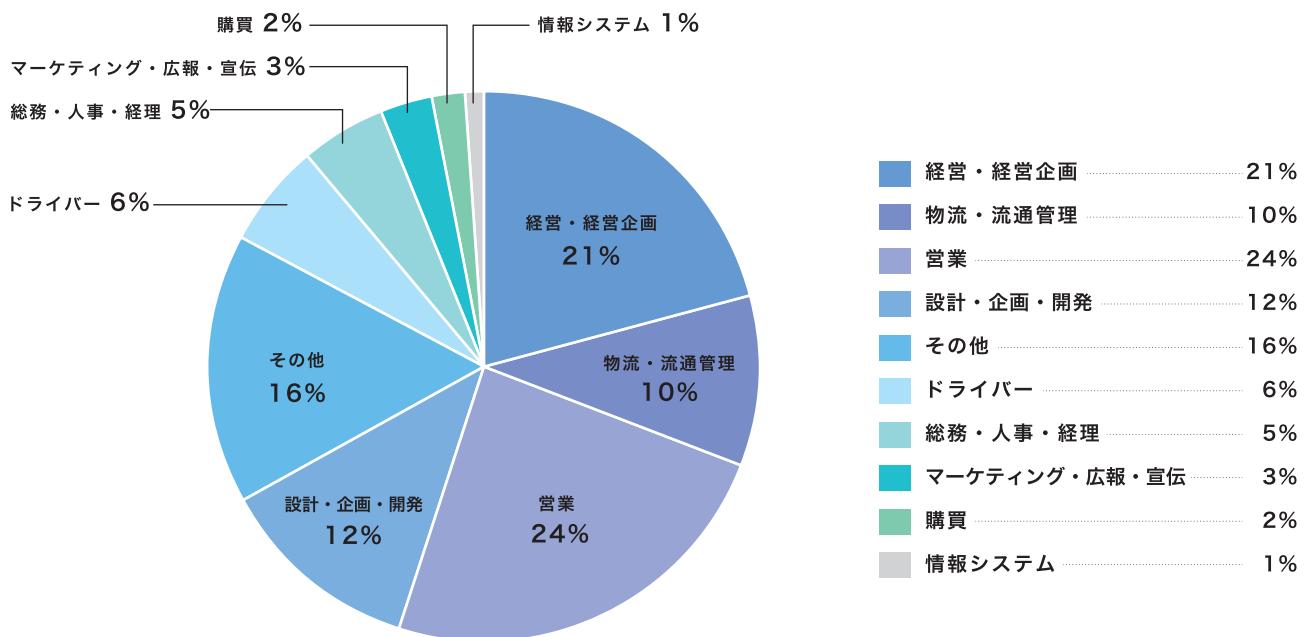
物流業（サポーターズを含む）は全体の約1/4、トラック・自動車関連の業界関係者が約半数以上を占め、その他企業・団体には、コンサルティングやマーケティング関連企業、教育機関が多く含まれました。



来場者の構成

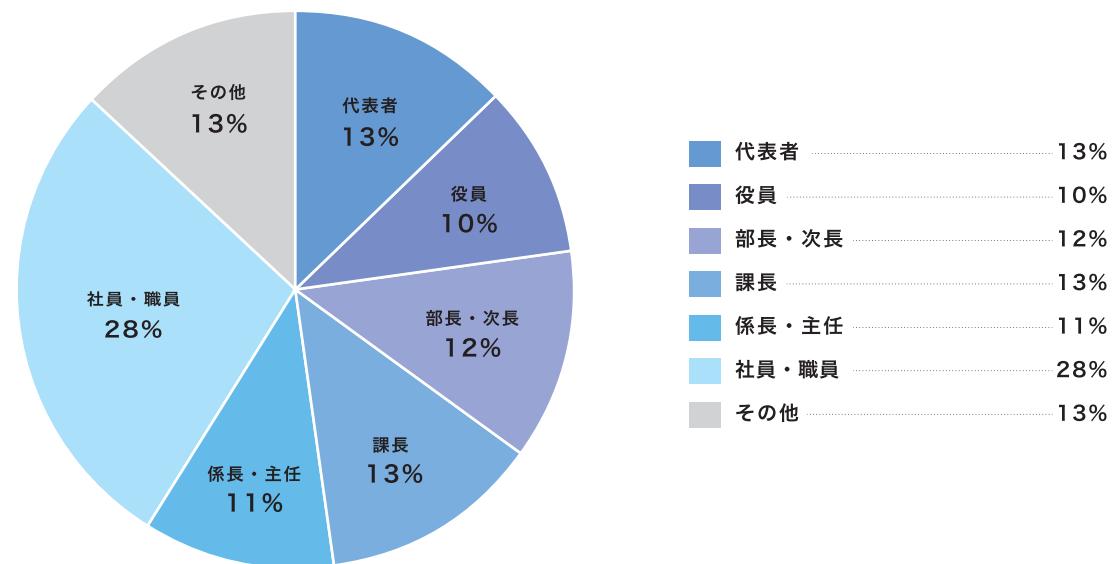
■職種別内訳

経営・経営企画と物流・流通管理、営業で5割強を占める結果となりました。



■役職別内訳

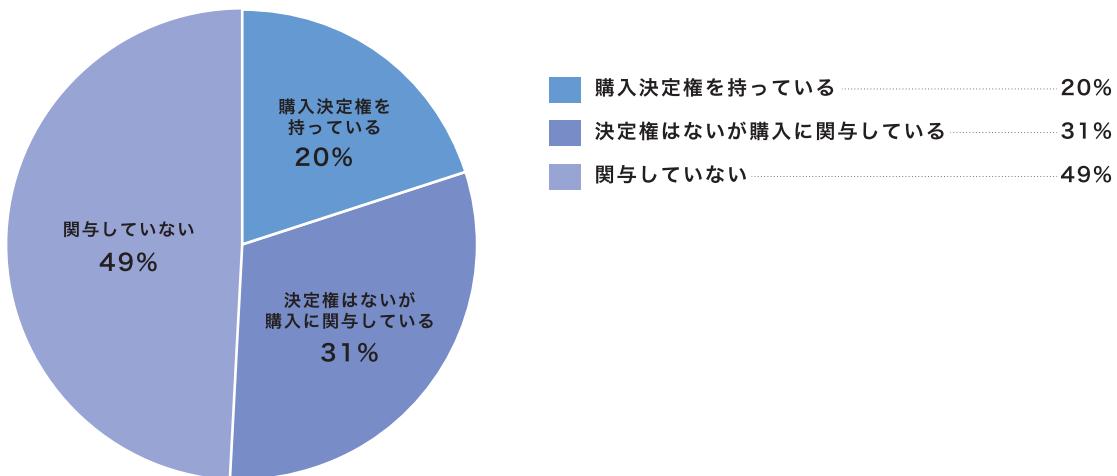
係長以上が約6割を占め、そのうち経営層が全体の約1/4となりました。



来場者の構成

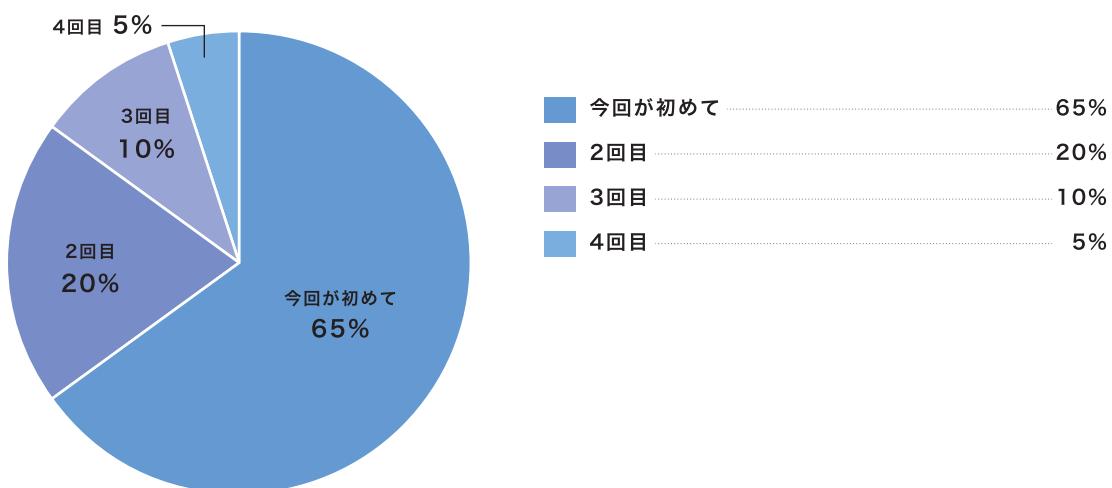
■ 購入決定権について

購入決定に関与する来場者は半数以上の割合でした。



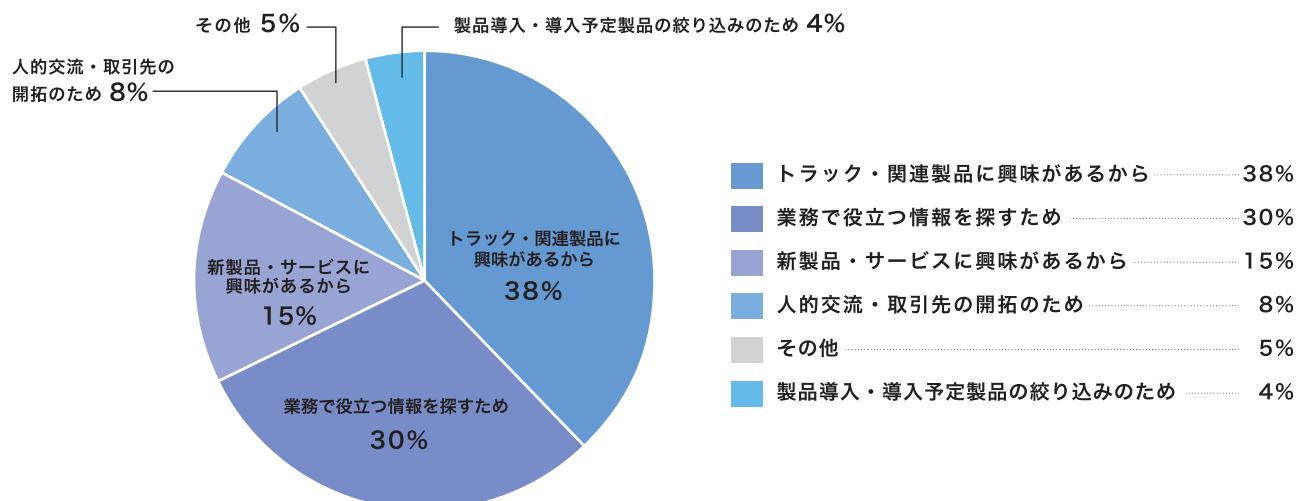
■ 来場回数

初めての来訪が6割以上となり、多くの新規来場者を誘致することができました。



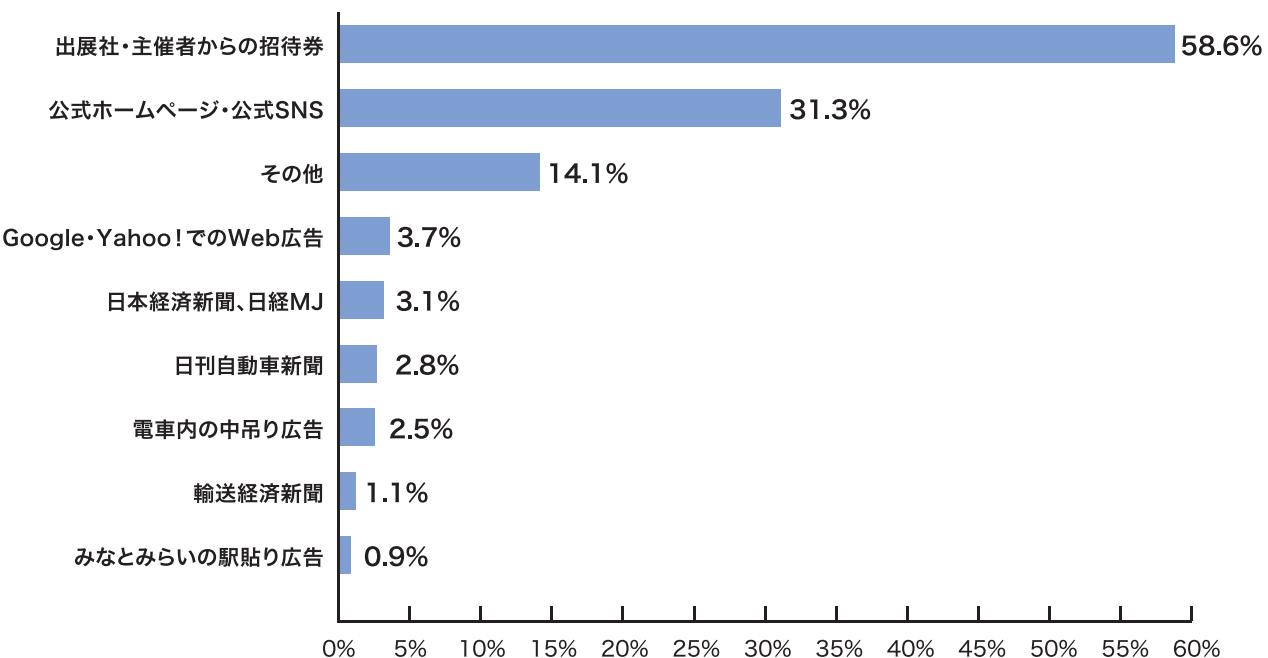
■ 来場目的

トラック関連製品への興味や実務レベルでの情報収集のために来場している結果となりました。



来場者アンケート結果

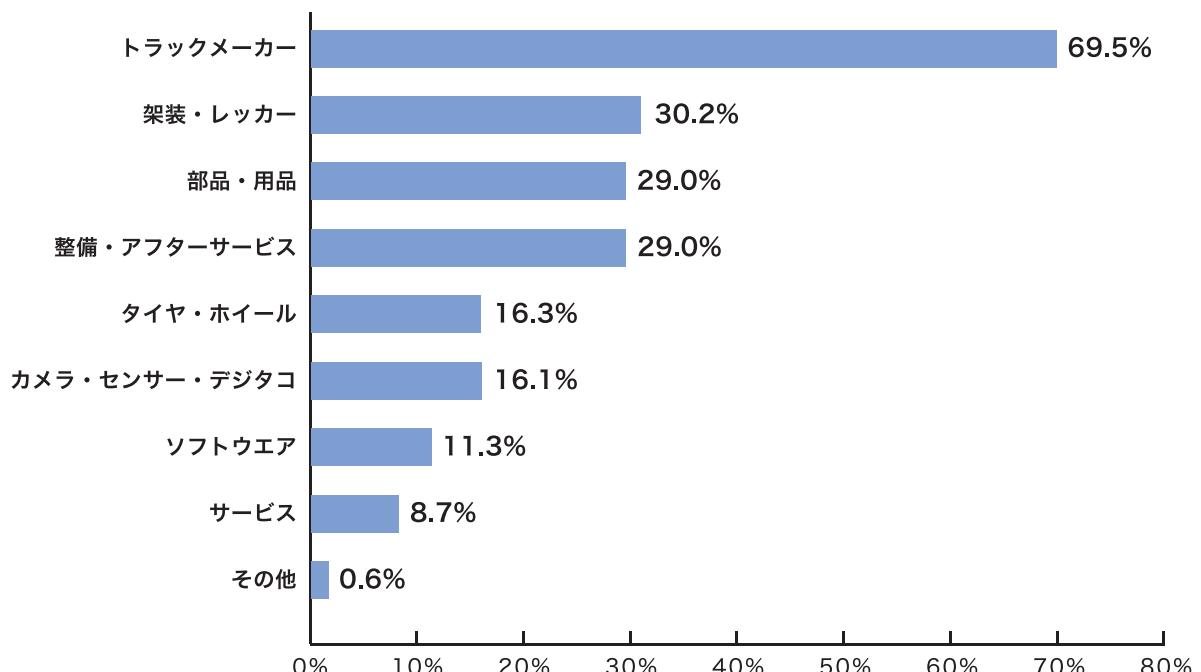
■展示会を知った媒体（複数回答可）



その他フリーワード（一部抜粋）

- ・新横浜駅の駅貼り広告
- ・NHKのニュースを見て
- ・地元トラック協会からの案内
- ・知人、同業者からの紹介
- ・トラック関連の雑誌
- ・テレビのニュース番組
- ・登録したアドレスにメールで情報を受信
- ・上司、同僚からの勧め
- ・出展社からの案内やSNS
- ・プレスリリース
- ・トラックYouTuberの番組
- ・富士スピードウェイで配布された告知チラシ
- など

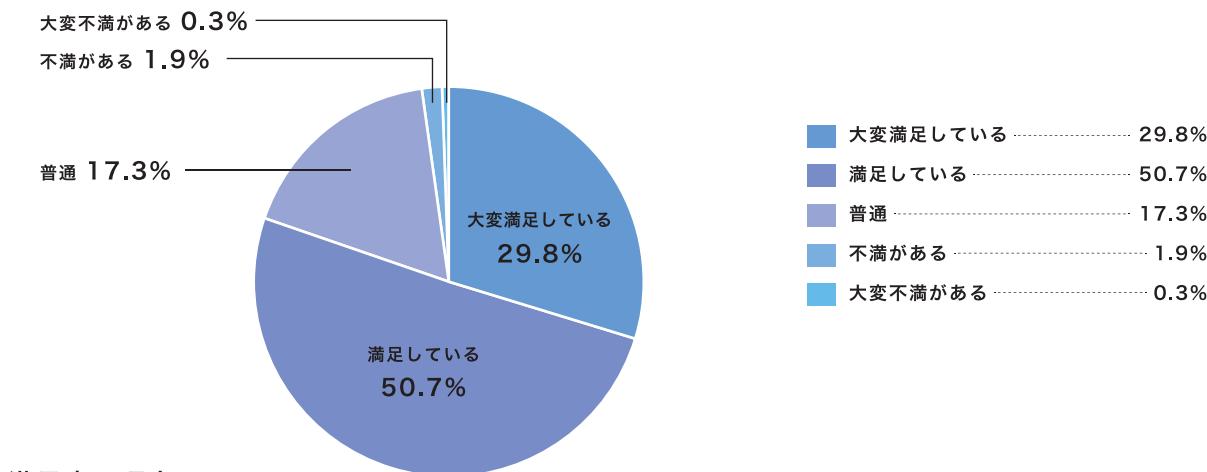
■興味のある出展カテゴリー（複数回答可）



来場者アンケート結果

■展示会全体への満足感

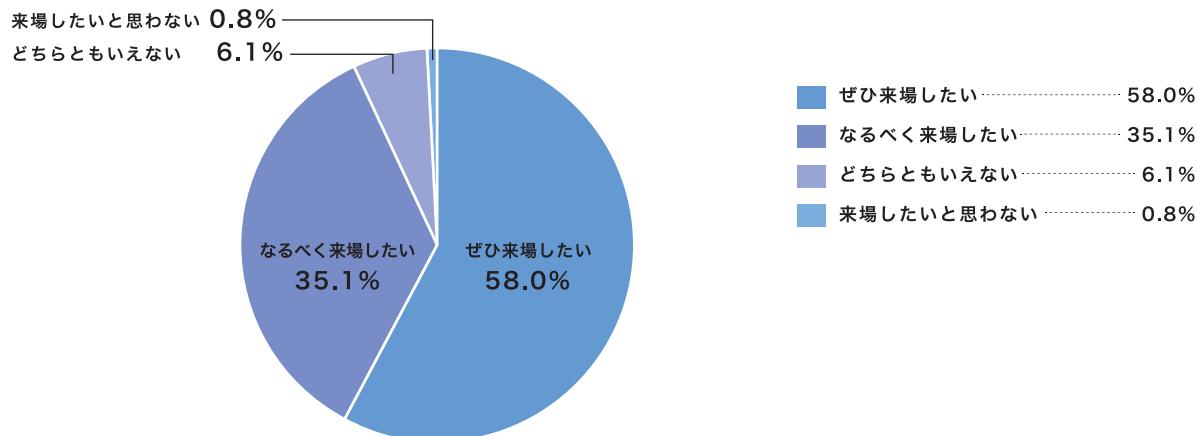
全体の8割以上が満足、9割以上が次回の来場に前向きな意向を示しており、実績を重ねながら、安定して高い水準の満足度を獲得しております。



満足度の理由（一部抜粋）

- 毎回開催される度に出展の内容が濃くなっているので楽しめた。
- 会場規模、通路幅含めた見易さ、出展内容、展示量など過不足なく丁度良いボリュームでした。
- 今回は、出展社数が多く見応えも情報も得ることができた。来場者も増えたことでゆっくり見ることができなかつたのは残念。
- エコや環境、物流などクリーンさをメインに訴えるのかなと想像していたがカスタムありオシャレさありの幅広いトラックの世界を感じられました。
- 講演で、トラックメーカー開発の責任者から、直接、生の声を聴けたから。
- 物流2024年問題への対応策や、ハイブリッド・EV・FCVなどの最新のトラックについて知ることができ、非常に勉強になったため。
- 2024年問題など直近の課題への各社の取り組みを知ることができた。
- トラックに関する様々なハード、ソフトを全方位で展示していた。
- ドイツの商用車ショーIAAのように、商用車に特化した展示会は少ないため、業界全体の動向が理解できて非常に勉強になりました。
- 各メーカーのトラックが一同に見学でき、トラック業界のトレンドも感じられた。
- 出展社の熱量とボリュームが多く普段接することのない技術者と直接話すことができてとても良い体験ができた。
- 普段中々触れる機会がないトラックに乗車したり物流の未来の展望など知る事が出来て良かったです。
- 小さな子供の参加もウェルカムな雰囲気で良かった。
- 自動配車システムなどの2024年問題への対応や配車マンの業務を減らすアプリケーションのブースが少なかった。
- それ以外はおおむね満足。
- 今回は日本メーカーが全て出展した事と、前回と同じように華やかさを感じられた。
- トラックYouTuberのトークショーが面白かった。
- 最先端の技術等を知ることができ、関係者との交流が持てた。運送業界の状況がわかるような講演も聞けた。
- 普段見れない海外メーカーのトラックの内装が見れたのと、実際に使用している車両も展示されていたため。
- 出展社様の声を直接お聞きすることで、現場の課題に触れる事が出来ました。

■次回展示会への来場意向



※2024年5月9日(木)～5月11日(土)の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

■印象に残った展示製品

〈トップワード〉

EV	いすゞ	ふそう	日野	UD
ダブル連結	スワップボディ	パブコ	Volvo	矢野
セノプロ	ヨシノ /FastElefant	ヒサマツ	リバティウォーク	
DPF	オートフロア	プリンター	普通免許で運転できるトラック	

- DPF洗浄、リビルト
- 大型用電動インパクトレンチ
- Dutro zEV
- 日野プロフィアFCV
- パブコのエクシオウイング、電動チェーンユニット
- セノプロの活魚トラック
- 快走章駄天
- 自走式洗車機
- 中古車販売ネット
- 電気自動車、燃料電池自動車
- 電気小型トラック、タイヤ空気圧監視システム
- 実物のDPDを山積みにしていた展示
- フジタボデーの自動歩み
- Volvo FH /Volvo安全性についてのムービー集
- いすゞ自動車 GIGA25t低床車3軸車
- ELFmio
- スカニア 重機運搬車
- 浜名ワークスの積載トレーラー
- UDトラックスの運転支援体験シミュレーター
- クオンの20周年記念トラック
- あおりステップ
- トレーラ架装台車
- 三菱ふそうのSuperGreat新型車
- e-Canter試乗体験
- EVモーターズ・ジャパン 試作トラック
- 連結トラックと脱輪防止アイテム
- ホイールナットの清掃工具
- ホイールナットの緩み防止装置
- 後方障害物検知システム
- トラック荷台床材のアピトン材に代わる 竹床材 “かぐや姫”
- 平野ロジスティクス航空コンテナ13台積セミトレーラー
- 木にも塗れる防護塗料
- BESTRUCKのナットチェック
- リトラスのトラック
- 安全自動車
- Rolfo
- 日本トレクスのダブル連結トラック
- ヨシノ自動車のカスタム・トラック
- シュミツのトレーラーダンプ
- EVトラック各種
- クラリオンのフォークリフト用人感センサー
- 澤藤電機ブースのe-Hydro
- Nobi for Driver
- ALTIAが展示されていたイージームーバー
- オートフロア (ナカオ工業)
- リコーデジタルペインティング
- 口ボ洗
- YOKOSHAのカメラ付きカブラ
- 運行安全関連機器
- 矢崎 デジタコ
- 久松ホールディングス(栄進ボディ工業)のセパレートボディ
- IT点呼、アルコールチェック等のソフトウェア
- スズキの電動モビリティー
- スズキFLEET
- あかつぎレッカー製品
- 各種配車管理システム
- リセットくん
- MR.WASH
- 2段秘匿運搬車
- リビルドタービン
- KWDのランプ
- カスタムホイール ブラックウルフ
- 保冷間仕切り(石井/アジャスト)
- eレッカー(ヤマグチレッカー)
- 矢野特殊自動車の格納型ハシゴ
- 流鏑馬テール (ヒーター付)
- ミシュランタイヤの再生可能材料で製作したタイヤ
- ウィンズのアドブルー添加剤
- 公洋商事 エンジン内クリーニング
- EU TRAILERSの20f・40f兼用シャーシ

※2024年5月9日（木）～5月11日（土）の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

- ワープルのレッカー装置
- 上陣の欧州トレーラ
- 花見台の20t積載スライドダンプ等
- 中古トラック協会システム
- 三菱製鋼のタイヤチェーン
- 大型牽引車
- バリアブルトラックテール
- 大型車用ホイールアライメント
- 日本製鉄のタフブライト
- 脱輪防止のナット固定ワッシャー
- 小糸製作所 融雪テール
- ダンロップタイヤのTPMS
- サンユー印刷 キープサーモカーテン
- 電動ナットライナー
- 防さび塗料
- 左折巻き込み防止装置(ワーテックス)
- 電動のバイク
- 倍カトルクレンチ
- 半完成ボディ
- バックアイカメラ
- 側方カメラ
- GOドラレコ
- 過積載モニタリングシステム
- LBWK udtrucksトラクター
- サーモグラフ温度計（カイセ）
- 車軸が分離するセミトレーラ（城南ホールディングス）
- ヤマダボデーパーツ
- CAMION
- OZSAN 低床トラックトレーラ
- トヨータイヤのリトレッドタイヤ
- アルコアホイール
- ファイブゲートのTPMS
- クラリオン（DBOX）
- フルトレーラーやTONEブースでのトルクレンチ
- AZ-COM丸和支援ネットワークBCP
- ドライバー採用関連のワークショップ
- Air Ball TB（ファイブゲート）
- クノールブレムゼのEVバス用エアーコンプレッサー
- ステアリング操作補助装置
- タカネットサービス リフレッシュトラック
- 台車の雨避けカバー



※2024年5月9日（木）～5月11日（土）の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

■今後希望するテーマや展示内容について

- 連結トラック、トレーラー、海外トラックメーカーの展示を充実させてほしいです。
- 車両メーカーは新製品・新技術の共有。部品・架装メーカーはドライバーさんの視点で考えた商品性アイテム。
- 対環境車両の展示を増やして欲しい。
- 架装でタンクローリーやテールゲートリフターの安全対策等あれば見たい。
- 生鮮食料品の長距離輸送に係る新たな技術（装置）など、課題解決に向けた技術革新。
- 商用車の未来（EV化ロードマップ、2024年問題・物流・運送業界の変化など）の見え方、方向性などの展示があれば勉強になると思う。
- ダンプトラックのリアバンパー跳ね上げ式、荷台コボレーンの種類など。
- 今回出展されている架装メーカーはカーゴ系が多かったので、特装系のメーカーにも出展して欲しい。
- パーツメーカーの出展を充実させて欲しい。
- トラックに使用するものは展示されていたが、納品する時に使う備品や安全に対する良い商品などがあれば展示して頂きたい。
- 大型レッカー車の車両回収の実演等。
- レストア、再生、昔と今…あらゆる問題と必要不可欠な業界のあり方を企業関係者以外にも知ってもらう、見てもらう、触れてもらう…展示会及びイベント。
- ドライバー不足への対応策、修理・サービス産業の将来性、電動化とAI活用など。
- 一般向けのグッズが増えると嬉しい。
- DPF洗浄関連の設備。
- 荷役の省力化、女性でも運転が楽なトラック、ハンドルの小径化とか。
- 転職支援や企業就職説明会。
- レーシングトランスポーターが見てみたいです。
- 自社が運送系列のIT企業なので、ITソフトウェア系の出展数を増やして欲しい。
- トラックメーカーだけでなく架装や部品メーカー各社のカーボンニュートラル、EV化に対する取組みの紹介をして欲しい。
- パネルディスカッション・講演の動画再生があれば見てみたい。
- トラックと船・鉄道貨物とのコラボも展示してほしい。
- 実運行業者による本音トークのような実態を表した企画。
- 欧州メーカーや中国メーカーの参加を希望します。
- トレーラーの展示が多かったが、車両メーカーの展示をもっと充実させてほしいと思いました。フルラインナップ並んでいる位の展示が見たいです。
- 2024年問題も関連して作業時間短縮、効率化の機器設備などを知りたい。
- 冷凍物流に関する情報（ハイブリッド、冷凍機、蓄冷、保冷能力）。
- EV系は勿論、環境に貢献でき、かつ航続距離や価格が現実的な車両の展示を望む。
- 2024年問題の解消の一つにモダルシフトがありますが、フェリー会社の出展が1社だったので、複数あると全国的なルートが分かる。
- 各安全対策（衝突、転落、挟まれ等）について広く深い内容のコーナーも設けてはいかがでしょうか。
- 会場が狭く、社会事象に沿ったもっと多種の車両の展示があれば良い。
- ポルボトラックのブースで死角について学ぶ体験があり、素晴らしい交通安全教室だと感じました。
- 会場限定のノベルティ（有料でも可）、模型、用品が購入し易い価格で提供してあると子供ともども楽しめます。
- EVトラックや燃料電池トラックの出展は是非続けていただきたいです。
- ドライバーが主役となるような、憧れの存在となるようなテーマです。
- 最先端機能（エンジンやデザイン）や特殊性能（働く車）を備えたトラックを次回もみたい。
- 現在、未来、過去を繋ぐような展示やディスカッション。たとえば、トラックやトレーラーヘッドデザインの変化、照明などわかりやすい内容から深掘りした内容まで一貫した展示、それとリンクするディスカッションやケーススタディなど。
- 試乗会の併催拡大。（大型車のみ同乗試乗等）
- 女性の講師を増やしてほしいです。
- CO2削減、共同配送、ドライバーサブスク。
- 関東・中部・関西と会場を分けて頂けると長い時間来場できる。
- 運転席に乗れる展示を多くしてほしい。（乗れるものには案内を出しておいてほしい）
- 未来を担う学生さん向けのイベントも企画してほしい。
- 物流業界における課題に関する講演、運送会社さんの生の声、トラックメーカーの今後開発課題について、モダルシフトとの組み合わせ。
- 2t～10t各トラックは面白かったが、軽の需要も増えてると進化を期待した展示品をより設けて欲しい。
- トラックYouTuberのトークショーはまたやって欲しいです。

※2024年5月9日（木）～5月11日（土）の会期終了後に実施しました来場者アンケートの集計結果です。

来場者アンケート結果

■ その他のご意見・ご感想について

- 業界関係者だけでなく、学生などにも広く周知したほうが良いのではないか。
- 今後、特定技能制度を用いた外国人ドライバーが急増するにあたり、外国人に見合ったナビ・点呼・日報入力等のデジタルソフト関係を次回のショーでは期待したい。
- 講演・パネルディスカッションはタイトルだけでなく、概要もホームページで確認できると参加しやすい。
- 公式ガイドブックが見やすいので今後も続けてほしい。
- 製品、サービスの紹介、商談がメインなので仕方ないが、一般が楽しめる企画が有ったら嬉しい。
- ドライバーには名刺がないので、名刺の代わりに代用して読み取って貰えるものなどあればもっと参加しやすそうだと感じた。
- 平日に子どもを連れて行きましたが、楽しめる企画もあって楽しかったと言っていました。再来年は中学生になってしまいます、開催されれば連れて行きたいと思います。
- 事前受付は、現地で待ち時間なく入場出来たので良かった。
- 架装関連メーカー各社の実車によるデモは、非常に感慨深く大変参考となりました。
- 会場の場所もあるので難しいのかもしれないが、トラック等に興味を持っている子供を主体とした家族連れを多く迎えることで来場者を増やしていくのであれば子供連れ家族を優先としたトラクターへッドの同乗体験（公道含む）が開催できれば長距離走行ではなくても（搭乗から下車まで5~10分）体験型イベントとして印象が強く残り将来のトラック運転手の育成にも貢献すると思う。
- 大型のトラックに乗った目線のシミュレーターなど体験出来ると良い。
- 歩行者や普通乗用車への見え方が分かるとお互いの事故等の認識にも役立つ。
- 出展者が内輪で固まってワイワイやっているせいで声をかけづらい状況が多かった。また試乗についても順番の列が長くもう少し回転よくできないものか？と思いました。
- いつも崎陽軒のお弁当を楽しみにしているので続けて欲しいです。
- 来場者事前登録分、各出展ブースでもスキャンし、来場者カウント出来る事は非常に良いと感じました。
- あの内容で無料で入れるのはありがたい。来場前および来場時の手續も簡単で良かった。もしもこの点にストレスがあったらそもそも来場を見合せたかもしれない。ありがとう！
- 安全運転指導など車両事故を減らせる装備、装置などがもっとあればと思いました。
- トレーラーの連結切り離し、車両運搬、重機、等のデモンストレーションを実演またはVTRで見せると、一般の人に受けるのではないかと思います。
- 事故防止に資する装置の紹介をお願いします。
- 横浜で開催されるというのも嬉しい。横浜観光も併せて楽しめるので。
- トラック、セミトレーラーの設計をしている為、毎回勉強になります。
- インスタストーリー等でのPRはよかったです。
- トラックの内装（特に海外メーカー）を見るのに待ち時間が1時間ほどある場合もあったので、もう少し台数があると分散して短時間で見れるかと思います。並んでいると他のブースを見る時間が無くなってしまうので整理券配布等の対応もあると限られた時間の中で会場を最大限見れて良かったです。
- 新製品などネット検索だけではわからないことがたくさんあります。情報発信の場として継続してほしい。
- 派手なブースが騒がしすぎ。
- 以前は屋外で、中古エンジンの始動実演などがあったが、今回はなかった。
- 屋外のブースでは、架装物のデモなど含めて実際に動かして見せてもらえるとより興味深い。
- 車両積み込み、積み下ろし自動化・省人化の展示およびセミナー
- 次世代燃料などの情報があるといいです。
- トラックは乗用車と違って見た目/ドライブを楽しむものではないので本体も部品もメンテもすべて機能/安全性を訴求してほしい。

■ キッズイベントについて

- 素晴らしい取り組み 平日忙しくとも、土曜に家族と見に行くことができる。
- 子供が回るのにちょうどよい規模のスタンプラリーで満足度が高い。
- 子供たちは大変楽しんでいました。賞品がもっと子供が喜ぶものがあればよかったです。販促品のようなものばかりだったので、お菓子ジュースなどでも喜ぶかと思いました。
- スタンプや景品のバッグも可愛くて、大人も子供も楽しめていい思い出になりました。
- 思いのほか、8ヶ所全部見つけるのが大変で探し甲斐がありました。その分、景品はもう少しグレードアップしてもらえるとうれしいです。
- 開々まで回れるスタンプ配置と、全部押せた子供たちへのプレゼントが充実しており、「次回もまた行きたい」と子供に言われました。

主催者特別講演の内容

会場 | 2F アネックスホール

5月9日(木)

A会場

時 間	タイトル	講演者	参加数
10:30~11:15	「我が国の物流の革新に向けた取組みの動向」 国土交通省	国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課長 小熊 弘明 氏	220
11:45~12:45	「関西人がホンネで語る！2024年問題をチャンスに変える戦術とは。」	フジトランスポーティ株式会社 代表取締役 松岡 弘晃 氏	258
13:15~14:00	「“運ぶ”の課題解決に向けたいすゞの取り組み」	いすゞ自動車株式会社 執行役員 SVP 涉外担当役員 開発部門 VP 佐藤 浩至 氏	255
14:30~15:30	「AZ-COM 丸和グループ、事業拡大のウラ側に迫る！新しき価値創造とはなにか。」	AZ-COM 丸和ホールディングス株式会社 代表取締役社長 和田見 勝 氏	243
16:15~17:30	「企業成長戦略の秘訣を探る～儲かる仕組み作りとは～」 パネルディスカッション モレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 代表主席研究員 岩崎 仁志	南日本運輸倉庫株式会社 代表取締役会長 大庭 博史 氏	274

5月9日(木)

B会場

時 間	タイトル	講演者	参加数	
10:45~12:15	「物流業の課題と行政に望むこと」 パネルディスカッション モレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 代表主席研究員 岩崎 仁志	ダイワ運輸株式会社 代表取締役 木村 泰文 氏 トヨー・ロジティック株式会社 代表取締役社長 西岡 斎 氏	福岡運輸株式会社 代表取締役社長 富永 泰輔 氏	128
12:45~13:30	「自動運転トラックの社会実装に向けた現状と課題」	株式会社ネクスティ エレクトロニクス 「RoAD to the L4」テーマ3リーダー／監修 小川 博 氏	153	
14:00~15:30	「安全・安心追求のためのエコドライブ活用」 パネルディスカッション モレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 主席研究員 砂川 玄任	株式会社 C&F ロジホールディングス 執行役員 若田部 守一 氏 矢崎総業株式会社 モビリティ事業本部 モビリティ事業企画統括部 事業企画統括部長 松尾 昌則 氏	セーフティー・サポート 代表 渡辺 良祐 氏	108
15:45~16:30	「“物流の2024年問題”の到来とフェリー・RORO船の活用」	株式会社商船三井さんふらわあ 執行役員 松本 淳 氏	115	

5月10日(金)

A会場

時 間	タイトル	講演者	参加数	
10:45~11:30	「トラック運送業界のGXの実現に向けて」 国土交通省	国土交通省 物流・自動車局 技術・環境政策課 専門官 松坂 真史 氏	178	
12:00~12:45	「大型トラックにおけるデザインコンセプトと自動運転への取組」	三菱ふそうトラック・バス株式会社 開発本部 アドバンスエンジニアリング部 AE メカトロニクスシステムズ マネージャー 木下 正昭 氏 三菱ふそうトラック・バス株式会社 開発本部 デザイン部 プロダクションデザイン マネージャー 土出 哲之 氏	259	
13:00~14:00	「物流コンサルが語るこれからの物流のあり方」 パネルディスカッション モレーター 一般社団法人国際物流総合研究所 主席研究員 砂川 玄任	株式会社 FULLxALL 代表取締役 大林 謙太 氏 株式会社 loc-any 代表取締役 古島 靖久 氏	株式会社物流改善事務所 代表取締役 黒澤 明 氏	146
14:30~16:00	「2024年問題“つぶれる会社”と“のびる会社”」 パネルディスカッション モレーター トラボックス株式会社 代表取締役会長 吉岡 泰一郎 氏	安立運輸株式会社 代表取締役社長 出島 康佑 氏 株式会社ライフソリューションズ 代表取締役 CEO 江川 哲生 氏	株式会社 NBS ロジソル 代表取締役社長 河野 逸郎 氏	344
16:30~17:45	「2024年問題に向かってトラック協会の対応策」 パネルディスカッション モレーター LOGISTICS TODAY 株式会社 代表取締役社長 / LOGISTICS TODAY 編集長 赤澤 裕介 氏	一般社団法人東京都トラック協会 副会長 鎮目 隆雄 氏 一般社団法人神奈川県トラック協会 副会長 東海林 蕁彦 氏	一般社団法人千葉県トラック協会 会長 池田 和彦 氏	187

5月10日(金)

B会場

時 間	タイトル	講演者	参加数	
10:30~11:45	「私たちのヒミツの話し…そっと教えます♪ 女性経営者の嬉しい本音トーク」 パネルディスカッション モレーター M'sパートナー株式会社 代表取締役 森田 雅子 氏	今井運送株式会社 代表取締役 今井 麻衣子 氏 株式会社ハンナ 代表取締役社長 下村 由加里 氏	株式会社 AZUMA 代表取締役 上田 裕子 氏	112
12:15~13:30	「物流業 次の時代へ」 パネルディスカッション モレーター 株式会社輸送経済新聞社 取締役 水谷 周平 氏	株式会社ムオカ 代表取締役社長 山下 俊一郎 氏 ダイセーエブリーニュートラック株式会社 代表取締役社長 田中 孝昌 氏	株式会社カーレントサービス 代表取締役 保坂 高広 氏 アサヒロジスティクス株式会社 代表取締役社長 横塚 元樹 氏	235
14:00~15:00	「3PL事業で会社を変える！」 パネルディスカッション モレーター 一般社団法人日本3PL協会 専務理事 加藤 進一郎 氏	元株式会社日本アクセス 取締役専務執行役員 中井 忍 氏 ロジ・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 戸井田 修 氏	サン インテルネット株式会社 代表取締役社長 三田 竜平 氏 日本物流開発株式会社 代表取締役社長 川底 宏至 氏	135
15:30~16:15	「ドライバー教育 “自社で行う座学と実車指導”」	小田原ドライビングスクール 副理管理者・講習部長 交通心理士 緒方 充宣 氏		116
16:45~18:00	「2024年を迎える乗り越えていくか」 パネルディスカッション モレーター 株式会社物流産業新聞社 代表取締役 高田 直樹 氏	株式会社ロジクスライン 代表取締役 沢田 秀明 氏 株式会社 橋本運送 代表取締役社長 橋本 道徳 氏	株式会社インフィールド 代表取締役社長 野中 章男 氏	116

出展社一覧

■ 156社564小間の企業様にご出展いただきました。

トラックメーカー

いすゞ自動車株式会社／UD トラックス株式会社
日野自動車株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
ボルボ・トラック
スズキ株式会社
株式会社 EV モーターズ・ジャパン

架装

株式会社エルティード
Ozsan Trailer Japan
Ozsan Trailer Japan /ミルウォーキーツール
株式会社上陣
Kässbohrer
有限会社三基
SUNHUNK
株式会社信濃車体製作所
セノプロトラックス株式会社
大連益同钣金加工有限公司
トップアローズ株式会社
ナカオ工業株式会社
日本トレクス株式会社
株式会社花見台自動車
株式会社パブコ
株式会社浜名ワークス
株式会社ヒサマツホールディングス
株式会社平野ロジスティクス
フォレストテクニック株式会社
フジタ自動車工業株式会社
BOGO LTD.
ホワイトハウス／TCL
株式会社ヤシカ車体
株式会社矢野特殊自動車
横浜車輛工業株式会社 YOKOSHA
株式会社ヨシノ自動車 (Fast Elefant) / 株式会社 KWD
株式会社リトラス
ROLFO

レッカー

株式会社あかつき
360 株式会社
株式会社城南ホールディングス
株式会社ヤマグチレッカー
株式会社ロードサービス
株式会社ワープル

タイヤ・ホイール

アルコア・ホイール
SAILUN TIRE
ダンロップタイヤ
Chaoyang Longmarch Tyre Co., Ltd.
TOYO TIRES
トピー実業株式会社・トピー工業株式会社
日本製鉄株式会社
日本ミシュランタイヤ株式会社
BBF 協同組合／株式会社ヤマテ工業
株式会社ファイブゲート
BLACK WOLF

整備・アフターサービス

株式会社アイ・アール・エス
株式会社アルティア
安全自動車株式会社
株式会社イチネンケミカルズ
株式会社イヤサカ / エムケー精工株式会社
NCH JAPAN
カイセ株式会社
株式会社空研
公洋商事株式会社
株式会社サンオータス
株式会社ダイフクプラスモア
タツノ
TONE 株式会社
HYTORC ユネックス合同会社
株式会社バンザイ
株式会社ヒラマツ
プロフレックス株式会社
リコデジタルペインティング株式会社

サービス

一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワーク
株式会社商船三井さんふらわあ
株式会社タカネットサービス
トラックサミット協議会
ドライバ
株式会社日光オート
株式会社 Blue Finback

部品

LB Trucks JAPAN
クノールブレムゼ商用車システムジャパン株式会社
KCV-PARTS
株式会社小糸製作所
佐鳥電機株式会社
澤藤電機株式会社
ジョローダジャパン株式会社
信越電装株式会社
伸工貿易株式会社
信和自動車工業株式会社
株式会社ターボテクノサービス・株式会社エコロジーターボサービス
ナイトスター
株式会社ながおテクノ
中野スプリング株式会社／日本スプリング販売株式会社
日鉄物産株式会社
一般社団法人日本トラックリファインパート協会
ハートンクラフト
株式会社ファンメタル
ヤマダボディーウォークス
株式会社リトラス パーツセンター
リビルトワールド

用品

株式会社アイテムワン
株式会社アジャスト
ALTEED
イサム塗料株式会社
株式会社石井
エバスペヒヤーミクニ
花魁 JAPAN
株式会社オートグランドスーパー セブン
オラフォルジャパン株式会社
株式会社オレンジ・ジャパン
関東車輌株式会社
キーフェル株式会社
株式会社ケービーエル
株式会社三榮商會
株式会社サンユー印刷
シユービー株式会社 (TRANSPORTER)
SPHERE LIGHT
大和紡績株式会社・帝人フロンティア株式会社
TESORO-Japan 株式会社
株式会社バーマンコーポレーション
BIGRIG CUSTOM SHOP
BESTRUCK
ベバストサーモアンドコンフォートジャパン
株式会社本荘興産
三菱製鋼株式会社
株式会社ヨシオ
株式会社ラスター
ロジ・コンビニエンス株式会社
ロックペイント株式会社

ソフトウェア

株式会社 Azoop
アセンド株式会社
株式会社 INBYTE
株式会社 NP システム開発
快走章駄天
株式会社コア
株式会社タイガー
株式会社 TUMIX
株式会社デジタルロジスティクス
テレニシ株式会社
ドコマップジャパン
TransSupporter / 株式会社聖亘トランステックネットワーク
Nobi for Driver
プレミアソフトプランナー株式会社
株式会社ロココ／都築電気株式会社

カメラ・センサー・デジタコ

アース電機株式会社
株式会社あきば商会
市光工業株式会社
クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
GO 株式会社
ジャパン・トウエンティワン株式会社
CENTLESS 株式会社
株式会社テレコム
株式会社日本ヴーテック
株式会社パル技研
株式会社 PALTEK
矢崎総業株式会社
株式会社ワーテックス

その他

KEN KRAFT / PLATZ



取材メディア一覧

株式会社 TBS テレビ	カーワールドジャーナル	コアプランニング株式会社
株式会社テレビ東京	株式会社自動車新聞社	株式会社マガジン大地
株式会社テレビ朝日	株式会社交通毎日新聞社	株式会社プロトリオス
株式会社テレビ朝日クリエイト	有限会社ムックプランニング	株式会社運輸三報社
日本放送協会	LOGISTICS TODAY 株式会社	株式会社エムテックゾーン
株式会社 NHK ビジネスクリエイト	運輸新聞株式会社	株式会社公論出版
株式会社テレビ神奈川	株式会社メディア・ヴァーグ	株式会社八重洲出版
株式会社 tvk コミュニケーションズ	ワック株式会社	株式会社セメント新聞社
千葉テレビ放送株式会社	株式会社プロトリオス	株式会社イード
株式会社朝日新聞社	株式会社月刊ガソリンスタンド社	有限会社産経新聞社
株式会社読売新聞東京本社	株式会社燃料油脂新聞社	株式会社電波新聞社
株式会社日本経済新聞社	全国石油商業組合連合会	株式会社内外出版社
株式会社ダイヤモンド社	株式会社経済界	株式会社コーティングメディア
株式会社日経 BP	株式会社メディアプラス	株式会社三栄
ラジオ日本	株式会社ファスニングジャーナル	株式会社ヘリテージ
株式会社ニッポン放送	株式会社日経映像	株式会社鉄鋼新聞社
横浜エフエム放送株式会社	マークライズ株式会社	株式会社ジーピーエス
株式会社グリーン・ドルフィン	株式会社イード	株式会社フォーイン
株式会社徳間書店	株式会社ポスティコーポレーション	株式会社二輪車新聞社
株式会社マイナビ	株式会社産業タイムズ社	株式会社ワン・パブリッシング
株式会社東洋経済新報社	株式会社化学工業日報社	新日本流通新聞社
株式会社日刊工業新聞社	株式会社ぼると出版	IGNITE magazine
株式会社講談社ビーシー	株式会社バーク	TVBS
株式会社好文舎	株式会社油業報知新聞社	TechNews
株式会社日刊自動車新聞	株式会社月刊タイヤ社	ETToday
株式会社輸送経済新聞社	株式会社カーゴニュース	Mobile 01
株式会社物流ニッポン新聞社	株式会社石油化学新聞社	The Liberty Times
株式会社物流産業新聞社	株式会社ムックハウス	Business Weekly
株式会社交通タイムス社	株式会社物流ニュース	コム・システム株式会社
株式会社芸文社	株式会社せいび広報社	株式会社矢野経済研究所
株式会社 RK 通信社	株式会社 CULTURE	株式会社塗料界展望社
時事通信社	物流問題研究所	など

(順不同)
ご協力ありがとうございました。

Next Truck Show Information



ジャパン トラック ショー 2026

次回開催予定

2026 5/14(木)・15(金)・16(土)

パシフィコ横浜

開催概要

名 称	ジャパン トラック ショー 2026
会 期	2026年5月14日(木)、5月15日(金)、5月16日(土) 10:00～18:00／最終日は17:00にて終了
会 場	パシフィコ横浜
主 催	一般社団法人 国際物流総合研究所
展示規模	165社以上 570小間以上(想定)
展示面積	25,000m ² (予定)
来 場 者	60,000人(見込み)
展 示 物	大型、中型、小型、軽などの各種トラック・トレーラー、特装車、特種車、作業車などの商用車、関連機器、部品・用品、物流機器、通信機器、関連ソフト・図書、整備機器・中古車など

スケジュールのご案内

出展申し込み受付開始日	2024年11月下旬(予定)
開催説明会	2025年2月下旬(予定)
出展申し込み締切日	2025年11月末(予定)
出展社説明会	2026年2月(予定)
搬入日	2026年5月12日(火)、13日(水)(予定)
展示会開催	2026年5月14日(木)、15日(金)、16日(土)
搬出日	2026年5月16日(土)

お問い合わせ

【ジャパン トラック ショー事務局】 一般社団法人 国際物流総合研究所 担当：坂口、矢野

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-10 ユニコム人形町ビル7F

TEL.03-3667-1572 FAX.03-3667-1581 URL www.truck-show.jp MAIL sales@truck-show.jp

